

授業科目	共生社会とジェンダー				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN10305J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	倉富 史枝							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、男女共同参画社会やハラスメントや性暴力の根絶などのテーマでワークショップを実施している経験を踏まえて、社会や学問に存在する性差に関わる既成概念や諸問題について学び、性別にとられない共生社会のあり方を考えられるようにアクティブラーニングを実施する。また、国籍、人種、障害の有無などに関わらず多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉え、女性が自立的に社会参画に関する問題を理解し、課題解決の方策を考えるようにする。その上で、自分自身が人間らしく誇りをもって働くために、ワーク・ライフ・バランスを軸として生涯にわたる発展的な「ライフキャリア」を構築していく道筋について探っていく。なお、授業はすべて遠隔授業で行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>学生が達成すべき行動目標</p> <p>1. 現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題を理解している。</p> <p>2. ジェンダーをめぐる問題を自分の生き方と結びつけて、学問や社会への批判的な視点を獲得する。</p> <p>3. 自分の意見を述べること、他者の意見を聴くこと、他者から学ぶこと、ができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	40	10	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	0	0	40	40	10	10	100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. ジェンダーと共生社会の概念に関する知識をよく理解し、これからの女性のあり方を主体的に考えることができる。 2. 講義の内容について、他の人に正確に説明できる。				1. ジェンダーと共生社会の概念について基本的な知識を理解している。 2. 講義の内容について、他の人に説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	テーマ: 性別役割分業意識にとらわれない育ち方 ジェンダーの概念を「ドラえもん」を使ってグループで意見を交換する。性別役割分業意識にとらわれない子どもの育ちを事例から考える	講義 グループ学習	復習: 当該部分の復習	45
2	テーマ: メディアが作るジェンダー意識 性的指向と性自認について学び、性的少数者を理解する。LGBT や性別役割分業に関する表現をテレビドラマ、歌詞、CMなどを材料にグループで分析し、よりよい表現を考える。	講義 グループ学習 発表	復習: 当該部分の復習	45
3	テーマ: 生物学的違いを考える 子育て期の親からの相談に対して、どのように回答するかを考える。それぞれの回答に対して、意見を交換する。	グループ学習 発表	復習: 当該部分の復習	45
4	テーマ: 性の商品化 子どもの権利条約や女子差別撤廃条約を理解し、「JKビジネス」「援助交際」が子どもと女性の権利を侵害していないかをグループで意見交換する。	講義 グループ学習	復習: 当該部分の復習	45
5	テーマ: 災害とジェンダー 被災時や防災において、ジェンダーによる偏りがどのような問題をもたらすか、どうすれば問題を解決できるかをグループで話し合う。	講義 グループ学習 発表	復習: 当該部分の復習	90
6	テーマ: 女子差別撤廃委員会からの勧告 国連から日本への女性差別に関する勧告は何度もなされているが改善がされていない。その現状を理解し、何が課題かをグループで話し合う。	講義 グループ学習	復習: 当該部分の復習	45
7	テーマ: 共生社会に向けて 性別にとらわれない共生社会に向けて、現在の課題とその解決をグループで考える。課題が解決した未来の様子を新聞記事の形で各人で文章にする。	講義 グループ学習	復習: 当該部分の復習	45
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高校の現代社会や世界史、日本史の知識			
テキスト	適宜資料を配布			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	伊藤公雄他著『女性学・男性学 ジェンダー論入門』			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	先進国の中では、日本はジェンダーの縛りが強い社会です。新聞やネットのニュースでもジェンダーの問題やセクハラの問題などは取り上げられています。日頃から、何か変だなという感覚を大事にして、個人的な体験にある社会的な原因を考えるようにして、主体的な生き方を選び取ってください。			
達成度評価に関するコメント	レポートの内容については、授業の中で指示します。 その他については、授業への積極的な参加を評価します。			

